

# ルチアめる

## 70周年記念号

医療法人 俣野内科医院 院長

社会医療法人 聖ルチア会 理事長

～ 特別対談・俣野淳先生 × 大治 太郎 ～



● 聖ルチア会の在宅復帰支援・社会復帰支援

● FOCUS / 教えて! 夏休みの過ごし方

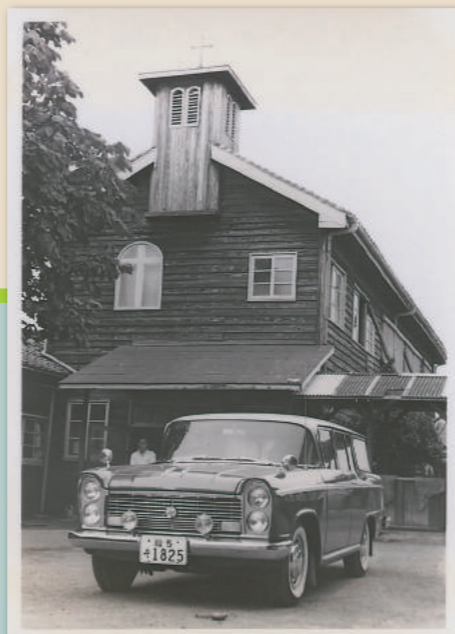
● 聖ルチア病院のプロフェッショナル〈番外編〉 / 2022年度新入職員紹介



# 祝 聖ルチア病院 70周年



「1950年代、開業当時の聖ルチア病院」



## 聖ルチア病院の歴史

- 1952年** 医療法人聖ルチア会 聖ルチア病院開設
- 1983年** 全病棟を開放病棟化
- 2003年** 特定医療法人認定
- 2012年** 4代目理事長に 大治太郎が就任
- 2017年** 社会医療法人認定
- 2021年** 病棟改築工事完了

当院は2022年4月をもって、70周年を迎えました。これもひとえに、地域の皆さまや連携機関の皆さまのご理解、ご協力があったることと、深く感謝申し上げます。

当院は1952年6月に、現在の場所で開院しました。当初は木造の建物でしたが、56年には鉄筋コンクリート造2階建ての病棟に建て替わりました。

70年間の歴史の中でも大きなターニングポイントは、「全病棟開放化」です。それ以前は5つの病棟のうち3つが閉鎖病棟でした。83年に実現した全病棟開放化は、当時全国でもほとんど前例のないことでしたが、2代目理事長の柴田道二が、人権尊重の観点から決断しました。最初は反対する職員もいましたが、全部署の職員が参加する「プロジェクト会議」を開始。議論を重ねて足並みをそろえていきました。患者さまや地域の皆さまにもご理解いただき、まずは1日に2時間だけ、次に午前中のみ、と開放時間を段階的に延長。生じた課題を一つひとつ解決しながら進め、ついに宣言

から10カ月後に全病棟開放化が実現しました。当時を知る職員は「全職員が同じ目標に向かって取り組み、これをきっかけに職員の意識も大きく変わった」と、当時を振り返ります。

現在の理事長大治太郎が就任したのは2012年です。この10年間で聖ルチア病院は、さらにスピードを上げて進化してきました。治療抵抗性や重度の難しい患者さまの回復を目指し、専門的な治療方法を積極的に取り入れて治療能力の向上を追求してきました。20年には、5つの疾患別治療チームを立ち上げ、より体系的な専門治療を確立しています。

これまで当法人は「私達は、患者様一人一人のために信頼される、最良の、心温まる医療サービスを提供します」の理念を大切に歩んできましたが、昨年、この理念に「地域の健康と幸福の増進に貢献します」と加えました。これからも、地域の健康と幸福のために発展し続けていきたいです。

## 聖ルチア病院 70周年 特別対談



社会医療法人 聖ルチア会

医療法人 俣野内科医院

理事長

大治 太郎

院長

俣野 淳 先生

当院から徒歩10分の「俣野内科医院」で院長を務める俣野淳先生。当法人が社会医療法人になってからは当法人の社員として病院経営の方針決定にも関わっていただいています。当院の大治理事長とプライベートでも仲の良い俣野先生に、聖ルチア病院の歴史と進化についてお話をいただきました。

## 聖ルチア病院と 俣野内科医院の歴史

**大治** 先生、今日はよろしくお願いします。俣野内科医院は、俣野先生のお父さんの代から始まって、ずっとご近所同士で診療してきたんですね。

**俣野** そうです。聖ルチア病院が1952年にスタートしていて、うちはその少し前、47年に開業しました。大治先生が聖ルチア病院に入った96年頃、ちょうど僕が院長に就任して、今のように仲良くなったのは10年前くらいだね。大治先生が理事長に就任したころ、2人とも久留米医師会の理事になって、医師会の事業や久留米の医療について話してきましたね。いつもは飲みながらね（笑）

**大治** うちの法人が社会医療法人になってから、俣野先生には社員になっていただきました。俣野先生はとても信頼のおける方で、かつ同じ地域で医療を提供されているので、当法人の行動が地域にとって適切か、客観的な視点で見ていただき大変助かっています。

## この10年の大きな進化

**俣野** 昔を振り返ると、ずいぶんと病院の雰囲気が変わったと思います。僕が子どものころの聖ルチア病院は、ちょっと怖かった。だけど今はずいぶんと明るくて身近な存在になったよね。

**大治** たしかに私が入職した25年ほど前は、玄関がものすごく暗く、怖いイメージがありました。16年かけて建物を改築して、陽の光や緑がさんさんと差し込むようになり雰囲気ががらっと変わりました。院外の方から「以前は病院の前を歩いていると病室の患者さんに鉄格子越しに声をかけられて怖かった」と言われたことがあり

ます。今は、うちの病院の軒で小学生が雨宿りをしている、地域の方の印象もずいぶんと変わったんだと実感しています。

**俣野** たしかに、うちの患者さんに聖ルチア病院の受診を勧めるときに、昔は患者さんに抵抗があるように感じたけど、今は全然。スムーズに受診してもらえています。職員さんの雰囲気も良いです。以前から忘年会にも招待してもらっていますが、みんな明るくて前向き。特にこの10年、大治先生が専門的な治療や革新的なことをやっているのに合わせて、職員さんが理解して取り組んでいます。僕は苦手な分野だけど、大治先生は組織をまとめて引っ張っていく素質があるんだと感心しています。

**大治** うちの職員も俣野先生を良く知っていて、いつも「俣野先生の患者さんだから、よりちゃんと対応しなくちゃ」という気持ちもあるみたいです。どの医療機関からの患者さんも、きちんと良くしてお返しすることを大前提としていますが、顔の見える関係があることで、より気持ちが引き締まることはありますね。

## これからの久留米の医療

**俣野** 内科系のかかりつけ医と、精神科の連携は、久留米医師会でも注力してきました。「久留米方式」と呼ばれて、うつ病やアルコール依存症では成果が出ています。

**大治** 次は小児科、産婦人科と精神科の連携強化を、医師会でも取り組みたいと話しています。産婦人科の先生方とは周産期のメンタルヘルスを、小児科の先生方とは子どものころの発達スクリーニングなどを一緒に取り組むことができたらと考えています。

**俣野** これからも一緒に地域の医療を良くしていきたいでしょう。そのけん引役としても期待しています。

医療法人俣野内科医院 TEL.0942-32-5710 <https://www.matano-naika.com/>





聖ルチア会の

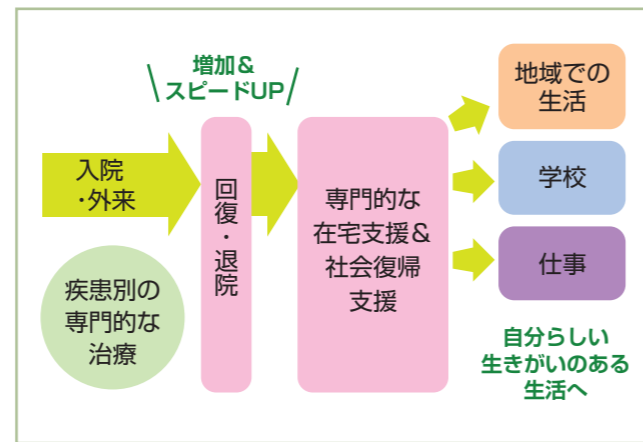
# 在宅復帰支援・社会復帰支援



近年、聖ルチア会では、専門的な治療の充実と多職種による支援の結果、以前に増して患者さまが早く回復し、地域での生活や社会復帰を目指せるケースが増えています。そこで当法人は、今後よりいっそう在宅復帰支援、社会復帰支援に力を入れていきます。

聖ルチア会では、患者さまが地域での生活や社会復帰を目指すため、4つの施設「精神科デイケア、デイナイトケア、ショートケア」「重度認知症患者デイケアすずらん」「グループホームルピナス」「訪問看護ステーションクローバー」を運営しています。

退院後すぐにご自宅での生活に戻るのがご不安な方には、障害者グループホームや、ご自宅から通えるデイケアがあります。また、患者さまのご自宅に専門職が定期訪



問する精神科訪問看護サービスもあり、患者さまの生活や状況に合わせてご利用いただけます。

## 聖ルチア会の在宅復帰支援施設3つの特徴

### 1 入院治療から在宅復帰支援まで切れ目なく！

例えば精神科デイケアのスタッフは、「5つの疾患別専門治療チーム」に所属し、入院中から退院後の生活を見据えて、院内スタッフとともに在宅復帰支援の内容を計画します。

病院と在宅復帰支援施設が一丸となって、入院治療から在宅復帰支援まで、切れ目ない支援をしています。

### 2 精神科疾患に精通したスタッフ

精神疾患に精通した経験豊富な専門職が、在宅復帰、社会復帰を支援します。知識や経験をもとに病院とも連携しながらサポートするので安心です。

### 3 介護保険サービスと併用できる

精神科デイケア、重度認知症患者デイケア、訪問看護は介護保険との併用ができます。介護保険をフルに利用している方も、「医療保険」でサービスを利用することができます。

さらに、「自立支援医療費制度」を利用できる方は、自己負担は上限金額までです。詳しくはお問い合わせください。

## 精神科デイケア デイナイトケア ショートケア

精神疾患のある方が、ご自宅や居住施設から通って、日常生活を送る上で必要なスキルを身に付けたり、仕事や学校に復帰を目指すためのリハビリテーションを行います。

復職支援にお困りの  
精神科医療機関に知ってほしい！

デイケアは、目的や症状に合わせた疾患別プログラムが充実しています。

今特に力を入れているのが、リワークを含めた復職支援です。担当スタッフは、日本うつ病リワーク協会の研修を受けています。その方に合った職場(就労継続支援事業所など)を見つけて、しっかりと定着支援をするので、1年以内の離職率はとても低いです。復職支援にお困りの精神科医療機関からも患者さまをご紹介いただき、喜んでいただいています。



社会復帰施設課長  
越智 哲平

## 重度認知症患者デイケアすずらん

認知症の方がご自宅や介護施設などから通って、認知機能や体の機能を維持するための医療、リハビリ、介護を受けられる施設です。

ケアマネジャーさんに  
知ってほしい！

ケアマネジャーや地域包括支援センターの皆さん、「認知症は重度なのに体が元気だから要介護度が低くて、十分な介護サービスが受けられない」というケースでお困りではありませんか？

当施設は医療保険で利用する施設なので、介護保険をフルに使っているご利用者さまにもご利用いただけます！専門職が常勤し、医師が毎日診察しますので、周辺症状が重度の方でも安心です！



重度認知症患者デイケア  
すずらん主任  
菖蒲 純平

## グループホーム ルピナス

「グループホーム」というと高齢者の施設を思い浮かべるかもしれませんが、当施設は、精神疾患のある方をサポートする居住施設です。ここから仕事や学校に通うこともできます。看護師や専門職のサポートを受けながら家事や金銭管理の練習をして、自立した生活を目指します。個室のアパートタイプと、共同生活のシェアタイプがあります。

福祉施設の方に  
知ってほしい！

精神疾患のある方には、対人関係、とくにご家族との関係性によって調子をくずす方もいらっしゃいます。ご本人がひとり暮らしを望まれていたり、「ご家族と離れて暮らした方が良さそう…」と感じる場合は、ぜひ一度ご相談ください。まずは私たちがサポートします。一緒にひとり暮らしを目指しましょう。



グループホーム ルピナス  
サービス管理責任者  
佐藤 直子

## 訪問看護ステーション クローバー

看護師や作業療法士が精神疾患のある患者さまのご自宅に伺い、病状の観察や医療的なケア(褥瘡ケアなど)、服薬管理のサポートなどを行います。生活の中での悩みごとに専門的な視点でアドバイスもします。住み慣れたご自宅で快適な生活がおくれるように、お一人お一人の状態に合わせた看護を提供しています。

精神科医療機関に知ってほしい！

経験豊富な専門職のスタッフが、ご自宅にお伺いして患者さまをサポートしています。児童思春期疾患から認知症まで幅広い年代や疾患の方にご利用いただけます。精神疾患はご本人が病状の悪化や再発に気づきにくいので私たちが定期的に訪問することで早期発見でき、適切な介入をすることができます。



訪問看護ステーション  
クローバー所長  
坂田 美紀

次号から、1施設ずつ詳しくご紹介していきます。お楽しみに!!



# 今最も注目の情報にフォーカス!

# FOCUS

もうすぐ楽しい夏休み!しかし、夏休みは「(お子さまの)生活リズムがくずれてしまう」「宿題を終わらせるにはどう指導したら良いか?」など、親御さんの心配事も多い季節です。児童思春期チームのスタッフが、夏休みの過ごし方についてアドバイスします。

## 今回のテーマ

### 教えて! 夏休みの過ごし方

私が  
おこたえします!

児童思春期病棟看護師長  
児童思春期チームリーダー  
柳瀬 美穂子



### ポイント

#### 生活リズム

夜寝て、朝起きる!

子どもの情緒や発達には、規則正しい生活リズムがとても重要です。当院の児童思春期病棟の治療でも、最初に生活リズムの改善に取り組みます。

特に重要なのは、夜は寝て、朝起きること!夏休みはつい夜更かしして、いつの間にか昼夜逆転してしまうこともあるので要注意です。

なんでも完璧にスケジュール通りにするのは、親子共に疲れてしまうので、夜寝る時間と朝起きる時間だけはしっかりと約束して、守れるようにサポートしましょう。

### ポイント

#### 遊び方

会話が生まれる遊びを!

お子様と何をして遊んだら良いのか?と悩まれる方もいます。イベントごとをたくさん企画しないと!と気負ってしまう方もいますが、あまり身構える必要はありません。

ポイントは、親子で「会話を増やす」ことです。スマホやテレビ、Youtubeなどをそれぞれに見て会話が減ってしまうのは、子どもの情緒や発達にも良くありません。カードゲームやボードゲーム、100円ショップの風船やシャボン玉なども、親子でやってみると盛り上がります。中高生などは、一緒に買い物に行くのも良いでしょう。日常的な会話が増えると、子どもの変化にも早く気付くことができます。

### ポイント

#### 宿題

短時間で集中  
「終わったら〇〇しようね!」

夏休みの宿題を終わらせるために、サポートの仕方が悩まれる親御さんも多いです。発達障害などがある場合は特に、親御さんがプレッシャーを感じる場面もあります。

ポイントは、「今から〇分だけ集中してやろう」と声かけをして、15分でも30分でも、その子が集中して取り組める時間だけ、短時間で集中することです。「終わったら〇〇しようね」と、その後の楽しみを示すとより集中できます。終わった後は「頑張ったね!」とたくさん褒めることも重要です。

### ポイント

#### 登校

ひとりで悩まず相談を!

長期間の休みの後に、不登校になってしまうケースもあります。お子さまが「学校に行きたくない」などといった場合には、学校の先生に相談して、日ごろの様子から原因を探しだすことが重要です。

学習障害や知的障害は、小学校入学後に気づかれることが多いです。授業がわからなくて学校に行きたくないという場合は、まずは学校に相談してみましょう。特別支援学級などで適切な支援を受けることで、楽しく学校に行けるようになるケースも多くあります。

## 聖ルチア病院を 共に支えてくれるひと

Vol. 7 グリーン調剤薬局 様  
COCORO薬局 様

聖ルチア病院のすぐ近くにあるグリーン調剤薬局さんと、COCORO薬局梅満店さんでは、たくさんの方の患者さまに薬を処方していただいています。薬物療法は精神科治療の3本柱のひとつ。その重要な治療を当院がスムーズにできるよう、支えていただいています。

#### 〇宮崎哲也さんのコメント

実家は宮崎一誠堂薬局といい、薬局を110年ほど続けています。聖ルチア病院前では聖ルチア病院さまが院外処方を始められた24年前から、近隣薬局としてお世話になっています。精神疾患患者さまのフォローのし方を追求してきました。例えば、何度も同じ質問や説明をすると混乱する患者さまもいるので、説明はできるだけ重複せずに短い時間で処方しています。自立支援制度を使っている場合などは、保険証が切れたのをきっかけに治療や薬が途切れてしまうことがあるので、保険証が切れないように呼びかけなどもしています。

#### 〇園田茂さんのコメント

梅満店ができて今年で4年目になりました。聖ルチア病院さんは様々な疾患を広くカバーしていて、今後どのように発展されるのか期待していますし、私たちもそれに対応していけるように頑張りたいです。今、当社や久留米三井薬剤師会では、薬局同士連携して、患者さまに合った薬局を紹介できるように取り組んでいます。久留米の地域包括ケアシステムの構築にむけて、まずは相談しやすい薬局を目指しています。

有限会社グリーン調剤薬局  
代表取締役 薬剤師  
宮崎 哲也 さん

#### 会社情報

有限会社グリーン調剤薬局  
〒830-0048  
久留米市梅満町1003-7  
TEL 0942-31-9361



COCORO薬局 梅満店  
管理薬剤師  
園田 茂 さん

#### 会社情報

あおぞらファーマ株式会社  
COCORO薬局梅満店  
〒830-0048  
久留米市梅満町1009-1-101  
TEL 0942-27-6722



## INFORMATION

インフォメーション

### 子育てサロン「シフォン」を 開催しています!

お子さまの発達など気になることについて、専門スタッフや同じ悩みを持つ保護者さまと、気軽にお話いただけます。当院で治療を受けていなくても構いません。お子さまのごことでお悩みがあればぜひいらしてください。

- 対象** 福岡県在住の保護者さま
- 日時** 第2・第4火曜日 13:00~
- 場所** 訪問看護ステーションクローバー1階 (聖ルチア病院隣接)
- 料金** 200円
- 担当** 美濃部 (臨床心理課)

お電話で簡単に  
予約できます



### 薬物依存症治療プログラム スタート

薬物依存症治療プログラムがスタートしました。自身の薬物使用について振り返り、薬物を使用せず健康的な生活を送るための方法を、医師や看護師などの専門職と一緒に考えます。

- 対象者** 覚せい剤・麻薬・シンナー等の使用、市販薬の乱用など
- 日時** 隔週水曜日 14:00~15:30 (13:30受付開始)
- 担当** 松本 (地域連携室)



当院を  
受診しなくてもOK!  
小さな心配事でも  
ぜひご相談ください!

当院は「福岡県発達障がい児等療育支援事業」「久留米市障害児等療育支援事業」を受託しており、療育や発達について、無料でご相談いただけます。どんな小さなことでも遠慮なくご相談ください。当院を受診する予定がない方も大丈夫です。看護師やソーシャルワーカーなどの専門職が対応し、適切な社会資源などをご紹介・ご提案しています。

問い合わせ窓口 **聖ルチア病院地域連携室** ☎0942-33-1581  
「療育支援事業の件」とお伝えください

2022年4月から、新たに6人の職員が仲間に加わりました！今回は新入職員のみんなに意気込みを聞いてみました。

精神科看護に興味があり入職しました。患者様に寄り添える看護ができるよう頑張ります。

分からないことばかりですが、先輩方のような心理士になれるよう日々努力していきたいと思います。よろしくお願いします。

徐々に病棟にも慣れることができました。これからもご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願いします。

一緒に切磋琢磨して、頑張ります。



日々、新しいことを吸収しながら頑張ります！

先輩のサポートを頂きながら経験を積み、より良い看護を実践できるよう頑張ります。

私たちの新しい仲間を、よろしくお願いします！

《対象疾患例》

統合失調症

気分障害 (うつ病)

認知症 関連疾患

児童思春期 発達障害

依存症 (アルコール・薬物)

周産期のメンタルヘルス

てんかん

摂食障害

《診療時間》

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:30 (受付時間 8:30~12:00)	○	○ rTMS 外来	○	○ rTMS 外来	○	○	×
14:00~17:00 (受付時間 13:00~16:00)	○	○	○	×	○	×	×

受診相談 「患者様のご紹介」「初めての受診」

受診相談窓口 **地域医療連携室**  
受付時間 **月~土曜日 9時~16時**

緊急時は夜間、日祝日も対応します。  
まずはご連絡ください。



社会医療法人 聖ルチア会  
**聖ルチア病院**  
St. Lucia's Hospital

〒830-0047 福岡県久留米市津福本町1012  
**TEL0942-33-1581 (代表)**  
FAX 0942-33-1586

関連施設

- ・精神科デイケア、デイナイトケア、ショートケア
- ・重度認知症患者デイケア すずらん
- ・訪問看護ステーション クローバー
- ・訪問看護ステーション クローバー おおき
- ・グループホーム ルピナス

